

ウトナイ湖通信



No.265

2026年6月号



6月のウトナイ湖は、気温も暖かく散策に気持ちの良い季節です。葉の影にはカタツムリの仲間のオカモノアラガイの姿も見られるようになりました。林ではキビタキやアオジなどの野鳥のさえずりも聞こえてきます。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

6月のイベント情報

第1回 野生動物に学ぶ救護セミナー
標本やデータが語る苦小牧の昆虫事情
～オオカマキリと水辺の昆虫～

6月6日(土)10:00～12:00

人と野生動物との共生・共存を考えるセミナーです。今回のテーマは、昆虫です。

●定員:先着30名

●対象:どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●申込:事前申込制。5/1(金)～6/5(金)

9:00～17:00まで、電話または直接当センター窓口へ



お気軽ガイドウォーク
in ウトナイ湖

6月14日(日) 10:30～11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員:10名程度

●対象:どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

●申込:不要。直接当センターへ



ボランティア体験講座
～自然を調べる仲間を募集中～

6月28日(日)9:30～12:00

当センターやボランティア活動についてレクチャーした後、ウトナイ湖で今見られる自然を調べる体験を行ないます。受講後、ご希望の方は当センターボランティアとしてご登録いただけます。

●定員:先着5名 ●対象:高校生以上

●申込:事前申込制。6/2(火)～6/27(土)

9:00～17:00まで、電話または直接当センター窓口へ

※当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。

市民ギャラリー

「第8回 奥山博美点描画展～勇払原野の鳥と草花～」

展示期間:2026年5月20日(水)～6月28日(日)

展示者:奥山 博美氏



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苦小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時～午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライングウェイ・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



キクイタダキ

明らかな外傷は認められなかった



搬入直後の診察時の様子

頭頂の羽が黄色のみなので、メスの個体



搬入直後の診察時の様子

原因：衝突疑い

4月15日 市内の道路脇で飛べずにいたところを保護され、ただちに、保護センターへ搬送される。
診察では明らかな外傷は認められず、衝突などによる脳しんとうが原因と考えられた。
保温、安静にし、経過観察したところ、次第に活発に動くようになる。
十分に飛翔力が回復していることを確認し、同日中にリリースにいたった。

リリース

キクイタダキ (スズメ目 キクイタダキ科)

全長 10cm、体重 3～6g の国内最小の野鳥です。一年を通じ観察することができます。山地の針葉樹林や針広混交林で生息していますが、冬季には平地へ漂行するものもいます。頭頂は黒い線で囲まれた黄色部がありますが、雄ではさらにその中央にオレンジ色の線があります。雌雄を識別することができます。

トピックス



ゴールデンウィークイベント

作って楽しいウトナイ湖の生きものの工作

5月4日に工作イベントを開催しました。アイロンビーズのアカゲラや、毛糸のポンポンでスズメ、生きもの折り紙や立体ぬり絵などをご用意し、来館者の方に楽しんでいただきました。できあがった作品を手に館内を見学する姿も見られ、工作をきっかけに生きものへの関心が深まったようでした。



ゴールデンウィークイベント

ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY

野鳥の重さを比べるクイズや春に聞こえる野鳥の声に注目する観察会、お題を探し歩くフォトラリーなど、ウトナイ湖に訪れる夏鳥や春の自然を体感するイベントを開催しました。「違う季節にまた来たい」「よく聞いていた鳥の声の名前がわかって嬉しかった」といった声が聞かれました。



ボランティアコーナー

4/16に実施した「自然情報収集調査」に参加された
ありかわ さんにインタビューしました。

「自然情報収集調査」のボランティアをしようと思った理由はなんですか？

元々植物や生きものが好きで、子どもたちも小学校に入り時間が取れるようになったので、前々から興味があったウトナイ湖の植物や生きものにどんな種類がいるか、実際に観察路を歩いて知りたく参加しました。

活動してみた感想を教えてください。

ベテランボランティアさんの植物や生きものについての博学な知識はとても勉強になりました。一人では見つけることができない生きものも、複数人で観察することにより、たくさんの種類の生きものを見つけることができました。

印象に残ったことがあれば教えてください。

前回冬に参加した時は、小さな野鳥が少なかったですが、今回はたくさん観察でき、さえずりもたくさん聞くことができました。自然観察路に響き渡るとても大きな声で鳴いていたシジュウカラが印象的でした。



シジュウカラを観察する
ありかわ さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・クイズ】

ウトナイ湖では、春から夏にかけていろいろな鳥のさえずりが聞こえてきます。鳥の識別には鳴き声を覚えることが大切ですが、これがなかなか難しい。

そこで、鳥の鳴き声を人間の言葉に置きかえた「聞きなし」を覚えるのがおすすめです。

右の A～C の鳥がどの聞きなしか、それぞれ線でむすんでみましょう。

A ウグイス



B センダイムシクイ



C エゾセンニュウ



「じょっぴん かけたか」 「法 法華経」 「焼酎一杯ぐいー」
※じょっぴん=カギ

※答えは最後のページにあります

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



レンジャーのおすすめ自然情報



【アオジ】

写真はオス。メスは目の周りが黒くない。下草が生い茂る場所から飛び出してくることもあるので、足元の草むらにも注目。



【ツツドリ】

「ポポッ、ポポッ、ポポッ」と低くも良く通る声で鳴く。ウトナイ湖では朝夕に林の観察路で鳴き声を聞くことが多い。



【ズミ】

低木で目線の高さにあるので、つぼみから白くなる様子が観察できる。秋に赤い実をつけ、野鳥が食べに来ることがある。



【ハンノキハムシ】

大きさ6~8mmほどで、ウトナイ湖では湖岸のハンノキに多い。葉を食べているのが観察できる。

6月のウトナイ湖は、観察路の植物たちの花が楽しめるようになる頃です。観察路沿いを中心に、今月はズミやチョウセンゴミシの花が観察できるかもしれません。野鳥の鳴き声や植物の音や香りを体感しながら観察路を歩いてみてください。

現在、野鳥は繁殖期・子育てに奮闘している時期です。同じ場所に居続けることや個体を長く観察することは控え、静かに見守りましょう。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【春】



春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねぐら立ちが見られます。4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。